

## 成果と課題及び指導改善のポイント

### 小学校国語（小学4年生、小学5年生、小学6年生）

#### 小学4年生で成果が見られた設問(◇)と課題が見られた設問(◆)及び出題の趣旨

- |                              |  |
|------------------------------|--|
| ◇ 互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめる | 設問 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">2</span> 二 |
| ◇ 中心となる語や文を捉える               | 設問 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">5</span> 五 |
| ◆ 修飾と被修飾の関係を理解する             | 設問 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">4</span> 二 |
| ◆ 段落相互の関係に着目して読む             | 設問 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">5</span> 一 |

#### 小学5年生で成果が見られた設問(◇)と課題が見られた設問(◆)及び出題の趣旨

- |                                   |  |
|-----------------------------------|--|
| ◇ 自分の考えが伝わるように表現を工夫する             | 設問 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">1</span> 三   |
| ◇ グラフを基に、分かったことを的確に書く             | 設問 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">2</span> 四   |
| ◆ 話の内容が明確になるように、構成を考える            | 設問 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">1</span> 五   |
| ◆ 文と文とのつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書く | 設問 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">2</span> 六 1 |

#### 小学6年生で成果が見られた設問(◇)と課題が見られた設問(◆)及び出題の趣旨

- |                                  |   |
|----------------------------------|---|
| ◇ 自分が聞こうとする意図に応じて、話題を決める         | 設問 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">1</span> 二    |
| ◇ 文章と図表などを結び付けて読む                | 設問 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">4</span> 三    |
| ◆ 情報を相手に分かりやすく伝えるための記述の仕方の工夫を捉える | 設問 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">2</span> 一    |
| ◆ 文脈に即して漢字を正しく書く「階級」             | 設問 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">2</span> 五 2イ |

#### 小学校国語の課題に対応した指導改善のポイント（☑してきましょう。）

- 「言葉の特徴や使い方に関する事項」に関する設問に課題が見られました。課題の一つである、修飾と被修飾との関係や文と文との接続の関係を的確に捉える力を高めるためには、「主体的・対話的で深い学び」の視点を踏まえて、授業を改善することが大切です。
- 修飾と被修飾との関係については、修飾語の役割を理解させるだけでなく、どのような修飾語を使うと分かりやすい文になるかを具体的に考えて話し合わせるような活動を設定している。
  - 接続語について学習する場面で、文と文との関係や接続語のもつ効果を、実感をもって捉えられるように、具体的な使用例を考えて短文を作るなどの活動を設定している。
  - 修飾と被修飾との関係や文と文との接続の関係など、基礎的・基本的な知識・技能に関する理解を深めるために、該当する単元だけでなく、「読むこと」や「書くこと」の単元の中でも適宜学習する場面を設定している。



正答表とセットになった「指導改善のポイントが分かる資料」も、併せてご覧ください。

集計結果

※「▼」は「要努力」を示す

	児童生徒数	正答率	無解答率	到達基準 (おおむね達成)	到達 状況
県	7,151	56.1	4.0	57.2	▼

※ 県の結果には、「未履修：1なし」かつ「集計対象：1対象」で入力された児童生徒の調査結果が反映されています。

分類・区別集計

分類	区分	対象設問数 (問)	正答率		無解答率		到達基準 (おおむね達成)	到達 状況
			県	県	県	県		
学習指導要領の 内容・領域等	言語の特徴や使いに関する事項	4	53.8	4.7	62.5	▼		
	情報の扱い方に関する事項	1	63.0	6.6	70.0	▼		
	話すこと・聞くこと	3	50.3	1.4	53.3	▼		
	書くこと	5	61.2	3.0	54.0	▼		
	読むこと	5	54.9	5.6	56.0	▼		
評価の観点	知識・技能	5	55.6	5.1	64.0	▼		
	思考・判断・表現	13	56.3	3.6	54.6	▼		
問題形式	選択式	11	56.2	2.9	58.2	▼		
	短答式	4	66.2	5.1	67.5	▼		
	記述式	3	42.4	6.9	40.0	▼		

※ 一つの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

設問別集計結果

問題番号	出題の趣旨	学習指導要領の 内容・領域等					評価の観点 知識・技能	問題形式 選択式 短答式 記述式	正答率		無解答率		期待正答率 (おおむね達成)	課題が見られる設問
		言語の特徴	情報の扱い方に関する事項	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと			県	県	県	県		
1	司会の役割を理解し、話し合いを進める		○				○		38.8		0.3	60	○	
2	—		○				○		61.9		0.5	60		
2	二 互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめる		○					○	50.2		3.4	40		
3	—			○			○		76.4		0.4	60		
3	二 自分の考えが明確になるように、書き表し方を工夫する			○			○		61.2		0.6	60		
3	三 集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にして書く			○				○	43.4		7.5	40		
3	四1 国語辞典の使い方について理解する	○					○		63.0		6.6	70	○	
3	四2ア 文脈に即して漢字を正しく書く「運ばれて」	○					○		67.6		4.6	70	○	
3	四2イ 文脈に即して漢字を正しく書く「暑かった」	○					○		46.9		5.2	60	○	
4	—			○			○		87.2		4.0	70		
4	二 修飾と被修飾の関係を理解する	○					○		46.8		2.9	60	○	
4	三 手紙の構成を理解し、後付けを書く			○			○		38.1		2.5	40	○	
5	—			○			○		44.5		3.4	60	○	
5	二 叙述を基に文章の内容を把握する			○			○		51.6		3.5	60	○	
5	三 目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約する			○				○	33.6		9.6	40	○	

設問別集計結果

問題番号	出題の趣旨	学習指導要領の内容・領域等				評価の観点			問題形式			正答率		無解答率		期待正答率（おおむね達成）	課題が見られる設問
		言語の特徴	情報の扱い方に関する事項	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	知識・技能	思考・判断・表現	選択式	短答式	記述式	県	県				
5	四	叙述を基に文章の内容を把握する				○			○			70.7		5.6	60		
5	五	中心となる語や文を捉える				○			○			73.9		5.9	60		
5	六	主語と述語の関係を理解する	○						○			53.9		6.2	60	○	

集計結果

※「▼」は「要努力」を示す

	児童生徒数	正答率	無解答率	到達基準 (おおむね達成)	到達 状況
県	7,094	62.9	4.3	56.5	

※ 県の結果には、「未履修：1なし」かつ「集計対象：1対象」で入力された児童生徒の調査結果が反映されています。

分類・区分別集計

分類	区分	対象設問数 (問)	正答率		無解答率		到達基準 (おおむね達成)	到達 状況
			県	県	県	県		
学習指導要領の 内容・領域等	言語の特徴や使い方に関する事項	4	63.1	7.2	62.5			
	我が国の言語文化に関する事項	1	79.8	3.4	70.0			
	話すこと・聞くこと	5	56.3	2.1	56.0			
	書くこと	5	66.8	1.7	56.0			
	読むこと	5	62.2	6.9	50.0			
評価の観点	知識・技能	5	66.5	6.4	64.0			
	思考・判断・表現	15	61.8	3.6	54.0			
問題形式	選択式	13	67.3	2.6	60.8			
	短答式	4	67.1	5.4	57.5			
	記述式	3	38.7	10.1	36.7			

※ 一つの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

設問別集計結果

問題番号	出題の趣旨	学習指導要領の 内容・領域等					評価の観点 知識・技能	問題形式 選択式 短答式 記述式	正答率		無解答率		期待正答率 (おおむね達成)	課題が見られる設問
		言語の特徴	言語文化	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと			県	県	県	県		
1	一	話の中心や話す場面を意識して話す			○		○		80.1		0.1	60		
1	二	意図を明確にして話し合う			○		○		40.9		0.3	60	○	
1	三	自分の考えが伝わるように表現を工夫する			○		○		85.4		0.1	60		
1	四	自分の立場を明確にして話す			○		○		47.4		0.3	60	○	
1	五	話の内容が明確になるように、構成を考える			○		○		27.7		10.0	40	○	
2	一	情報を分かりやすく伝えるために、工夫して書く			○		○		80.0		0.3	60		
2	二	事実と感想、意見とを区別して書く			○		○		79.2		0.3	70		
2	三	目的や意図に応じ、記事に見出しを付ける			○		○		62.1		0.4	60		
2	四	グラフを基に、分かったことを的確に書く			○		○		78.0		2.1	50		
2	五	目的や意図に応じ、必要な内容を整理して書く			○		○		34.8		5.4	40	○	
2	六1	文と文とのつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書く	○				○		35.4		12.0	50	○	
2	六2	ことわざや慣用語の意味を理解して、自分の表現に用いる	○				○		79.8		3.4	70		
2	六3ア	文脈に即して漢字を正しく使う「温まって」	○				○		79.1		4.2	70		
2	六3イ	文脈に即して漢字を正しく使う「周り」	○				○		75.8		3.5	60		
3	一	目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約する			○		○		75.2		2.4	50		

設問別集計結果

問題番号	出題の趣旨	学習指導要領の内容・領域等					評価の観点			問題形式			正答率		無解答率		期待正答率 (おおむね達成)	課題が見られる設問
		言語の特徴	言語文化	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	知識・技能	思考・判断・表現	態度	選択式	短答式	記述式	県	国	県	国		
3	二	事実と感想などの関係を叙述を基に捉える				○				○			53.4		2.7	60	○	
3	三	目的に応じて、必要な情報を見つけ、比較して読む				○				○			58.0		3.4	50		
3	四	文章を読んで理解したことについて、自分の考えをまとめる				○					○		53.7		14.9	30		
3	五	修飾と被修飾との関係を理解する	○							○			62.3		8.9	70	○	
3	六	目的に応じて、必要な情報を見つけて読む				○				○			70.5		10.8	60		

集計結果 ※「▼」は「要努力」を示す

	児童生徒数	正答率	無解答率	到達基準 (おおむね達成)	到達 状況
県	7,424	64.0	2.3	57.8	

※ 県の結果には、「未履修：1なし」かつ「集計対象：1対象」で入力された児童生徒の調査結果が反映されています。

分類・区分別集計

分類	区分	対象設問数 (問)	正答率		無解答率		到達基準 (おおむね達成)	到達 状況
			県	県	県	県		
学習指導要領の 内容・領域等	言語の特徴や使い方に関する事項	2	52.8	5.9	65.0	▼		
	情報の扱い方に関する事項	1	83.1	0.2	70.0			
	我が国の言語文化に関する事項	1	76.6	1.2	60.0			
	話すこと・聞くこと	4	63.1	0.9	55.0			
	書くこと	5	58.0	2.5	58.0			
	読むこと	5	68.9	2.4	54.0			
評価の観点	知識・技能	4	66.3	3.3	65.0			
	思考・判断・表現	14	63.3	2.0	55.7			
問題形式	選択式	11	72.9	0.5	61.8			
	短答式	4	57.0	4.7	62.5	▼		
	記述式	3	40.6	5.6	36.7			

※ 一つの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

設問別集計結果

問題番号	出題の趣旨	学習指導要領の 内容・領域等					評価の観点 知識・技能	問題形式 選択式 短答式 記述式	正答率		無解答率		期待正答率 (おおむね達成)	課題が見られる設問
		言語の特徴	情報の扱い方に関する事項	言語文化	話すこと・聞くこと	書くこと			読むこと	県	県			
1	一	目的に応じて、質問したいことを整理する		○			○	○	66.7		0.1	60		
1	二	自分が聞こうとする意図に応じて、話題を決める		○			○	○	80.0		0.1	60		
1	三	聞いた内容と自分が知っていることとを比べ、自分の考えをもつ		○			○	○	66.8		0.1	60		
1	四	話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って質問する		○			○	○	39.0		3.5	40	○	
2	一	情報を相手に分かりやすく伝えるための記述の仕方の工夫を捉える		○			○	○	45.0		0.1	60	○	
2	二	グラフを基に分かったことを的確に書く		○			○	○	54.7		3.3	50		
2	三	図表やグラフなどを用いた目的を捉える		○			○	○	81.1		0.3	70		
2	四	目的や意図に応じて、事実と感想、意見を区別して書く		○			○	○	41.3		5.0	40		
2	五1	文末表現の使い方に注意して書く		○			○	○	67.8		3.7	70	○	
2	五2ア	文脈に即して漢字を正しく書く「機会」	○				○	○	58.3		5.4	60	○	
2	五2イ	文脈に即して漢字を正しく書く「階級」	○				○	○	47.3		6.4	70	○	
2	五3	ことわざや慣用語、故事成語の意味を理解する		○			○	○	76.6		1.2	60		
3		国語辞典を使って、言葉の意味と使い方を理解する	○				○	○	83.1		0.2	70		
4	一	段落相互の関係に着目して読む		○			○	○	92.2		0.4	70		
4	二	事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に捉える		○			○	○	50.7		0.7	50		

設問別集計結果

問題番号	出題の趣旨	学習指導要領の内容・領域等				評価の観点			問題形式			正答率		無解答率		期待正答率（おおむね達成）	課題が見られる設問
		言語の特徴	情報の扱い方に関する事項	言語文化	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	知識・技能	思考・判断・表現	選択式	短答式	記述式	県	県			
4	三	文章と図表などを結び付けて読む				○				○			88.6		1.0	60	
4	四	目的に応じて、必要な情報を見付ける				○				○			71.6		1.6	60	
4	五	文章全体の構成を捉えて要旨を把握する				○					○		41.3		8.4	30	